



はま なし

鶴岡市立西郷小学校 学校だより
令和2年度 第7号 (2020. 9. 28 発行)
～家庭・地域とともにある西郷小学校～



5月～9月

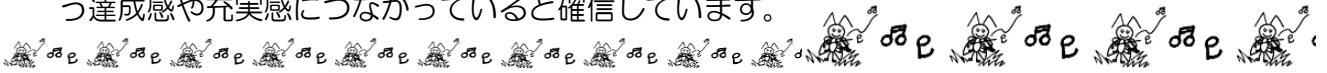
「学ぶこと」をつないできた前期から

今までに経験したことのない「短い夏休み」が明けてからは、身の危険があり外遊びを禁止したほどの暑い日も含め、ほぼ1か月残暑が続きました。それでも、学校から見える雄大な庄内平野に広がる黄金色の稲穂が刈られていくにつれ、確実に秋がやってきていることが朝夕の風に感じられるようになりました。



現在まで、子供たちは風邪症状の場合には大事をとって登校を控える（出席停止）ほかは、例年に比べ欠席も少なく、意欲的に学習に取り組み、友達とも仲良く学校生活を送っています。各教室にエアコンがついて学習環境が安定したこと、いつも以上に日頃の体調や衛生管理に家族ぐるみで配慮いただいていること、そして友達と遊んだり話したりできることを子供たちが何よりも喜んでいることが大きな要因と感じられます。

また、各学年の授業でも、進度の遅れは慌てずに回復していくことを確認しており、担任が丁寧に子供たちに向き合い指導していることが、一人ひとりの「わかった・できた」という達成感や充実感につながっていると確信しています。



さらに、子供たちにとっては、教室で学んだことを体験とつなげて深めることもとても大切です。5年生は8月27日と28日に大鳥自然の家で思い切り山と川で遊び、友と一緒に食事を作り、そして泊まるという体験をすることができました。1年生は加茂水族館見学で海の生き物の多様性に驚き、4年生はプラネタリウムで星の動きに感動しました。6年生は小真木のグラウンドでの陸上競技会で力を発揮し、2年生は電車に乗ったり、ザリガニしめをしたりして生活科や図工とつなげた勉強を展開しています。この後は3年生や4年生、そして特別支援学級としての校外学習も計画されています。6年生も一番の体験学習である修学旅行に2週間後には出発できそうです。



西郷小のすべての子供たちが、将来の自立に必要な基礎的な力をきちんと身につけながら、その力を実際の社会生活の中に繋げ、生かしていくことができるように、体験的な学習も効果的に実施していく2学期となります。

こうした考えからも、10月末に予定の『学習発表会』は子供たちにとって大切な勉強の場と考えています。感染対策を講じながら例年に近い内容での実施を計画しています。各学年の取組みや準備も始まっています。当日をお楽しみにお待ちください。



「学んだこと」を広げ・深める後期へ

10月～3月